

講義科目名称：心理学

授業コード：1S001

英文科目名称：Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	榎本光邦
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学</p>	榎本光邦
	第4回	<p>発達障害 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な発達障害であるAD/HD、SLD、自閉スペクトラム症の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：発達障害、AD/HD、SLD、自閉スペクトラム症、太田ステージ理論、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	榎本光邦
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポデント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	榎本光邦
	第7回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	榎本光邦
	第8回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	榎本光邦

	<p>第9回 性格 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性</p> <p>第10回 対人関係と集団 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，関係の維持</p> <p>第11回 臨床心理学（1） 「精神分析」 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス</p> <p>第12回 臨床心理学（2） 「分析心理学」 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析</p> <p>第13回 臨床心理学（3） 「クライエント中心療法」 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p> <p>第14回 心理療法（1） 「コラージュ療法」演習 心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。 key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法</p> <p>第15回 心理療法（2） 「箱庭療法」 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴</p>	<p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p>
<p>科目の目的</p>	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
<p>関連科目</p>	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，家族社会学，生活文化と医療，人口知能・ロボットと社会，人間関係・コミュニケーション論，基礎統計学，情報処理，情報リテラシー，データサイエンス入門，大学の学び入門，大学の学び一専門への誘い，多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】医学概論，基礎生理学，小児科学，精神医学，リハビリテーション医学，言語医学，聴覚医学，臨床心理学，生涯発達心理学，学習・認知心理学，心理測定法，言語学，聴覚心理学，言語発達学，チーム医療とリハビリテーション，地域社会学</p> <p>【専門科目群】地域リハビリテーション学，失語症学，高次脳機能障害学，失語・高次脳機能障害評価法，失語・高次脳機能障害支援論，言語発達障害学，言語発達障害評価法，言語発達障害支援論</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>定期試験（レポート形式・70%）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
<p>準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安</p>	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードし</p>	

	ておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房
オフィス・アワー	月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室または5号館1階学生相談室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。

講義科目名称：教育学

授業コード：1S002

英文科目名称：Education

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループワーク等の演習を含みます） 15コマ	担当者
授業計画	第1回 なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回 教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回 世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。 提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第4回 世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第5回 日本の学校教育の変遷 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第6回 現在の学校教育が目指すもの 新学習指導要領の記述を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第7回 潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回 子どもの思いに基づく幼児期の教育 「環境を通して行う教育」「遊びを通しての総合的な指導」といった幼児教育の基本について知ることを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回 子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回 子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回 活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回 特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第13回 チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第14回 教師の資質 これまでの学びや自身の教育経験を踏まえ、子どもにとって理想的な教師像を思い描くことを通して、教師に求められる資質とはどのようなものかを考える。	安藤哲也
	第15回 「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自印刷して授業に持参して下さい。

講義科目名称：教育心理学

授業コード：1S003

英文科目名称：Educational Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
原 芳典			

授業形態	講義（演習＝エクササイズを含む）15回	担当者
授業計画	<p>第1回 教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 エクササイズ（思い出に残る先生）</p> <p>第2回 発達の視点を持つ 様々な発達理論 思春期とは？ エクササイズ（自分史グラフ）</p> <p>第3回 仲間関係の発達 ギャンググループ チャムグループ ピアグループ エクササイズ（自分たちの体験を振り返る）</p> <p>第4回 児童期 フロイトの自我理論 心理学のあゆみ エクササイズ</p> <p>第5回 乳幼児期① 生理的早産仮説 有能な赤ちゃん 愛着形成 エクササイズ</p> <p>第6回 乳幼児期② ビデオ学習「赤ちゃん」</p> <p>第7回 青年期の心理と課題 エリクソンの発達理論 エクササイズ（アイデンティティ・ステイタス）</p> <p>第8回 ジェンダー・アイデンティティ 自己概念 ジェンダー・アイデンティティ 男女の会話スタイル エクササイズ</p> <p>第9回 学校教育相談① ビデオ学習「多様な性の子どもたち」 学校教育相談の歩み エクササイズ（チェーン・インタビュー）</p> <p>第10回 学校教育相談② アサーション アクティ・リスニング エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）</p> <p>第11回 特別支援教育 特別支援教育に至る経緯 発達障害の概念の整理 エクササイズ（視覚優位か聴覚優位か）</p> <p>第12回 教育現場での実践的諸問題① ビデオ学習「発達障害」 いじめ問題 エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）</p> <p>第13回 教育現場の実践的諸問題② ビデオ学習「傷つき傷つけられた果てに」 摂食障害 自傷行為（リストカット） 自殺</p> <p>第14回 学校教育と自己肯定感 自己肯定感 エレファントシンドローム エクササイズ（OKマークをペタン）</p> <p>第15回 まとめ 自己実現 エクササイズ（様々な私） まとめ</p>	原 芳典
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得する	
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験50% および課題（毎回提出を求める学習の理解や定着度を測る小レポートなどで次回にコメントや評価をつけて返却）の評価 50%	
準備学習の内容・準備学習に必要な	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらないが自分の教育体験をよく想起しておく（10分程度）	

学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書は とくに使用しない。必要に応じて講義資料を提示する。 参考書： 保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000年 神田橋條治著「発達障害をめぐって」岩崎学術出版社 2018年
オフィス・アワー	昼休み及び授業前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	とくになし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義 (13回) ・ 演習 (2回)	担当者
授業計画	<p>第1回 はじめに ―健康の保持・増進という視点から運動・スポーツを科学する― ①ライフスタイルと生活習慣病について ②適正体重の維持 ③日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう ④運動不足病としての生活習慣病 ⑤「運動基準」「運動指針」</p> <p>第2回 運動とスポーツの生理学① ―呼吸・循環器系機能と運動・スポーツ― ①運動の持続と呼吸・循環器系 ②循環器の働きと血液の循環経路 ③運動に伴う呼吸・循環器系機能の変化</p> <p>第3回 運動とスポーツの生理学② ―ATPと運動・スポーツ― ①運動時の酸素利用 ②トレーニングによる呼吸・循環器系の適応</p> <p>第4回 運動とスポーツの生理学③ ―神経・骨格筋系機能と運動・スポーツ― ①随意最大筋力を決めるもの ②身体運動にみられる筋と腱の相互作用 ③身体運動と神経機能</p> <p>第5回 運動とスポーツの生理学④ ―エネルギー代謝と運動・スポーツ― ①1日のエネルギー消費量と貯蔵エネルギー量 ②一過性運動時のエネルギー代謝 ③トレーニングによるエネルギー代謝の変化</p> <p>第6回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論① ―トレーニング概論― ①体力トレーニングの原理と原則</p> <p>第7回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論② ―瞬発系、持久力系、回旋系― ①エネルギー発現能力を高めるためのトレーニング</p> <p>第8回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論③ ―評価 (アセスメント) ― ①評価 (アセスメント) ②コレクティブエクササイズ</p> <p>第9回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論④ ―アスリートトレーニング― ①一例 (ケンブリッジ飛鳥) (目標まで3か月、週3回、1時間) ②ドローイン</p> <p>第10回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑤ ―筋肉とタンパク質― ①食事のアスリート度チェック ②栄養 (タンパク質) チェック</p> <p>第11回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑥ ―筋肉とアミノ酸― ①アミノ酸とは ②BCAAについて ③グルタミンについて ④アルギニンについて ⑤クレアチンについて</p> <p>第12回 スポーツ心理① 他人のために自分ができること、目標設定とは?理想の自分とは?成功と失敗を振り返る、について考える。</p> <p>第13回 スポーツ心理② 起こり得る問題の対策、オープンウインド、について考える。</p> <p>第14回 スポーツ心理③ 気持ちをコントロールする、について考える。小テスト実施。</p> <p>第15回 スポーツ心理④ 1か月の目標設定、について考える。小テスト返却。レポート提出。</p>	<p>衣川隆</p>
科目の目的	<p>「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者とし</p>	

	<p>て、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。 またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】</p>
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、正しい筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に着ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。</p>
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	講義時間内にレポートを実施（50％）。小テスト（50％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、自分自身の健康や体力、栄養について振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	<p>参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション オリエンテーションと班編成&トレーニング	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 腓腹筋、前脛骨筋等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング RFDの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第4回 球技・トレーニング 大臀筋、ハムストリングス等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第5回 体力測定記録会 体力測定（長座体前屈、握力、背筋力、立ち三段跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、腹筋30秒、20m）、体力測定記録会は小テストになる。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 体幹を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 大胸筋、小胸筋、三角筋を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第8回 球技・トレーニング 菱形筋、前鋸筋等の肩甲骨周辺筋群を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第9回 球技・トレーニング アイソトニック、アイソキネティック、アイソメトリックの考え方を中心とした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第10回 心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。	衣川隆
	第11回 球技・トレーニング アナトミートレインの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第12回 球技・トレーニング PNFストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第13回 球技・トレーニング バランストレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第14回 球技・トレーニング メディシンボールを使った筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第15回 球技・トレーニング ドローインと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
科目の目的	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチを行って、少しずつ無理なく、自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。</p> <p>各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして将来チーム医療を実践するための、学生相互のコミュニケーション能力も身に付ける。</p>	

到達目標	①健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 ②生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 ③自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（65％）。小テスト（35％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおける体調管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、生活リズムを振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：生命倫理

授業コード：

英文科目名称：Bioethics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
吉田 幸恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：哲学

授業コード：

英文科目名称：Philosophy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：現代文学

授業コード：

英文科目名称：Modern Literature

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
徳本 善彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。	
教科書・参考書	教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。 参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫） 参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Academyにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	

講義科目名称：芸術

授業コード：1S010

英文科目名称：Art

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 14:00～14:40	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称：法学(日本国憲法含む)

授業コード：

英文科目名称：Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
道下 洋夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず(2021年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：家族社会学

授業コード：

英文科目名称：Family Sociology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
坂本 祐子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生活文化と医療

授業コード：

英文科目名称：Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：経済学

授業コード：

英文科目名称：Economics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
飯島 正義			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
佐藤 満			

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	第1回 人工知能の定義，ロボットの定義 未来社会に多大な変革をもたらす技術とされる人工知能技術、およびロボット技術の位置づけを類似従来技術との差から考察することで、人工知能、ロボットの技術的特徴を理解する。	佐藤 満
	第2回 人工知能の歴史 これまでの人工知能技術開発の歴史と経過を考察し、その折々での技術水準と技術の限界を確認することで、現在の人工知能技術の到達水準と弱点を理解する。	佐藤 満
	第3回 人工知能の仕組みとその学習方法 人工知能技術の仕組みとしての人工ニューロンのネットワークの概念を理解する。また人工知能に学習させる方法の種類とその特徴について理解する	佐藤 満
	第4回 身のまわりにある人工知能技術① 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が我々の暮らしに与える影響について理解する。	佐藤 満
	第5回 身のまわりにある人工知能技術② 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が我々の暮らしに与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第6回 人工知能技術と社会① 人工知能技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第7回 人工知能技術と社会② 人工知能技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が近未来社会に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第8回 人工知能技術と医療① 人工知能技術の応用は、医療にも大きな技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が今後の医療に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第9回 人工知能技術と医療② 人工知能技術の応用は、医療にも大きな技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通して人工知能技術が今後の医療に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第10回 ロボット技術の歴史・種類・仕組み ロボットであると認知される技術の歴史の変遷やその種類について概観し、現在のロボットの位置づけを明確にした上で、人工知能との組み合わせで高機能化したロボットの概要とその種類を理解する。	佐藤 満
	第11回 ロボットと社会① ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通してロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満

	第12回	ロボットと社会② ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、その成果を通してロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第13回	ロボットと医療① ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、ロボット技術が今後の医療に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第14回	ロボットと医療② ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習を行い、ロボット技術が今後の医療に与える影響について理解する。学習成果はグループごとに発表し、その場で成果へのフィードバックを行う。	佐藤 満
	第15回	人工知能とロボットの未来 人工知能やロボット技術が際限なく進歩すると、人間や社会との共存という視点からさまざまな問題が生じると予想されている。そうした課題の具体例セキュリティやプライバシーの観点から理解する。	佐藤 満
科目の目的	本科目はこれからの医療と社会に大きな変革をもたらす人工知能とロボット技術に関して医療人として必要な基礎的知識と教養を身に付けることが目的です。また、主体的に疑問や課題を発見し、主体的に調査や検討を実施する課題解決のプロセスを通して、将来的に人工知能とロボット技術に適切に向き合うことができる能力を身に付けます。以上より、リハビリテーション学部のデュプロマ・ポリシーの「人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力」および「自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢」の獲得を目的とします。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】		
到達目標	人工知能技術やロボット技術がもつ特色、期待される役割、技術の到達レベルを説明することができる。 人工知能技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。 ロボット技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。 人工知能技術やロボット技術が多大な進歩を遂げた際に生じる課題や問題を説明することができる。		
関連科目	教養科目群・共通基盤科目群：基礎統計学 専門基礎科目群：リハビリテーション概論、リハビリテーション医学		
成績評価方法・基準	成績は講義内で作成する課題（60%）と定期試験（40%）にて評価します。定期試験の出題範囲は全ての講義で扱った内容とし、講義資料だけでなく講義で言及した内容を含めます。講義内で作成する課題は講義中に発表します。その際に課題へのフィードバックを行います。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前にシラバスの講義内容に目を通し、関連する単語や概念について調べてください。講義中に十分理解できなかった内容については、講義後に調べて、それでも解決しなかった際にはメールで質問してください。予習と復習を合わせて1講義につき1時間の時間を掛けることが望ましいです。		
教科書・参考書	【教科書】 指定しません。 【参考書】 講義の中で紹介します。		
オフィス・アワー	必要に応じ講義後、それ以外はE-mailで受け付けます。 Mail Address : msato@nr.showa-u.ac.jp		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	講義開始前までに講義資料を配布する。		

講義科目名称：地域ボランティア活動論

授業コード：

英文科目名称：Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
竹澤 泰子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：人間関係・コミュニケーション論

授業コード：

英文科目名称：Human relations and communication study

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	佐藤久美子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	佐藤久美子
	第2回・3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	佐藤久美子
	第4回・5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期 (S期、G2期、G1期) ③細胞周期の調節 ④分裂期 (M期) ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体 (遺伝子) の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～	佐藤久美子
	第6・7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	佐藤久美子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異	佐藤久美子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に生物学Aでは生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学 I、生理学 I、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (80%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (20%) により評価する。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 生命活動とエネルギー ①酵素の性質と酵素反応 ②生命活動とエネルギー ・光合成：光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程について ・人工光合成研究開発の現状と未来計画 ・呼吸：生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割（解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生）について ・外呼吸と内呼吸の関係 ・動物と植物のエネルギー連関～光合成と呼吸～</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその1 ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ ④原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ⑤性染色体の不活性化 ⑥エピジェネティクス</p> <p>第5回・6回 遺伝ーヒトを中心にーその2 ①単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性優性遺伝病、劣性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ②多因子遺伝病 ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第6回・7回 ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ⑤胚葉の分化 ⑥前胚子期と胚子期 ⑦発生をつかさどる遺伝子 ⑧先天異常発生の要因</p> <p>第8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンプロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】</p>	
到達目標	<p>基礎生物学で学んだ学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。 ②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。 ③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。 ④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。 ⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
関連科目	基礎生物学、化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	

成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-ボックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。

講義科目名称：基礎数学

授業コード：1S021

英文科目名称：Basic Mathematics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、基礎統計学について学ぶ。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学，基礎物理学，物理学，基礎化学，化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：基礎統計学

授業コード：1S022

英文科目名称：Basic Statistics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび高校数学 授業の内容・進め方、成績評価の仕方を説明した後、講義に必要な高校数学(微分・積分など)を復習する。	井上浩一
	第2回 確率分布 確率変数および確率分布の概念を学び、離散型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学ぶ。	井上浩一
	第3回 代表的な確率分布(1) 代表的な離散型確率分布である二項分布を学ぶ。	井上浩一
	第4回 代表的な確率分布(2) 連続型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学び、とりわけ正規分布を学ぶ。	井上浩一
	第5回 相関 2変数データを散布図にまとめて、その分布を視覚的に把握する方法を学ぶ。	井上浩一
	第6回 標本調査 母集団の特徴を表す母平均・母分散、また基本的な統計量である標本平均とその分布を学ぶ。	井上浩一
	第7回 推定 母集団のある値を、標本のデータから推定する方法を学ぶ。	井上浩一
	第8回 検定 母集団についてのある仮説が、標本のデータに基づいて、その仮説を否定できるかどうかを判定する方法を学ぶ。	井上浩一
科目の目的	データを処理する上で必要となる統計的な見方・考え方および手法を学び、将来、仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 確率分布の概念を理解し、その特徴を表す値(期待値、分散など)を求めることができる。 2. データの相関を把握し、それらを的確に表現することができる。 3. 推定・検定の意味を理解して、母集団の考察に活用できる。	
関連科目	基礎数学、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	筆記試験100% なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：授業前に配布したプリントに目を通しておく。(30分程度) 復習：教科書または参考書(下記に記載のものでなくてもよい)の演習問題を解いてみる。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書：「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦(共立出版) 参考書：「はじめての統計学」道家映幸・伊藤真吾・宮崎直・酒井祐貴子(コロナ社)	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修条件 基礎数学も履修することが望ましい。 ○履修上の注意 教科書の第3章から始めて、目次通りに授業を進めるが、時間の制約上、すべてを網羅できないことをご了承していただきたい。なお、第1, 2章の内容は講義「基礎数学」に含まれています。 また、講義内容をまとめたプリントをActive Academyに登録しておくので、講義日までに各自でダウンロードしておいてください。	

講義科目名称：基礎化学

授業コード：1S023

英文科目名称：Basic Chemistry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 化学反応の速度 化学反応の速度の測定方法、速度に影響を与える要因について解説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：化学

授業コード：1S024

英文科目名称：Chemistry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と関わる化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確保するために、各講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：基礎物理学

授業コード：1S025

英文科目名称：Basic Physics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	佐藤求
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	佐藤求
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	佐藤求
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	佐藤求
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	佐藤求
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	佐藤求
	第7回 円運動 等速円運動。	佐藤求
	第8回 バネと単振動 単振動。	佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	金曜日終日、研究室にて。 (それ以外の時間でもこちらが空いているようなら気軽にどうぞ。)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称：物理学

授業コード：1S026

英文科目名称：Physics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	佐藤求
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	佐藤求
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	佐藤求
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式、干渉	佐藤求
	第5回 波動 2 ドップラー効果	佐藤求
	第6回 電気の基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	佐藤求
	第7回 電気の基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	佐藤求
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	金曜日終日、研究室にて。 (それ以外の時間でもこちらが空いているようなら気軽にどうぞ。)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	

講義科目名称：英語リーディング

授業コード：1S027

英文科目名称：General English Reading

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
柴山 森二郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介	柴山 森二郎
	第2回 Lesson 1 Communication communicationの持つ力についての会話練習、英文読解。(課題) 英語で自己紹介をしてみる。	柴山 森二郎
	第3回 Lesson 2 Friendship 課題のフィードバック。様々なfriendshipの形についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for omunicationのLet's Try (Lesson 1, 2)	柴山 森二郎
	第4回 Lesson 3 Health 課題のフィードバック。Healthに留意することの意義についての会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第5回 Lesson 4 Environment 絶滅危惧種を守るためにすべきことについての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3, 4)	柴山 森二郎
	第6回 Lesson 5 Fashion 課題のフィードバック。着物の変遷に関する会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第7回 Lesson 6 Food 人気のある食べ物についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 5, 6)	柴山 森二郎
	第8回 Lesson 8 Study Abroad 課題のフィードバック。海外留学の意義についての会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 日本とアメリカの大学生活の違いについての会話練習、英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 8, 9)	柴山 森二郎
	第10回 Lesson 10 Steve Jobs 課題のフィードバック。Steve Jobsの生涯に関する会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第11回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する会話練習、英文読解。(課題) Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 10, 11)	柴山 森二郎
	第12回 Lesson 12 Internship 課題のフィードバック。インターンシップの意義に関する会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第13回 Lesson 13 Travel 交通手段の発展の歴史に関する会話練習、英文読解。(課題) Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 12, 13)	柴山 森二郎
	第14回 Lesson 14 Culture 課題のフィードバック。カルチャーショックに関する会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
	第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	柴山 森二郎
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	

準	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	時間：講義の前後、場所：非常勤講師室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。

講義科目名称：医療英語会話

授業コード：1S028

英文科目名称：Medical English Conversation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking Introduction to the course, class format, expectations, syllabus, and grading scale, as well as personal introductions and commonly used phrases and questions for use in class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Quiz (short test) on Unit 1 + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Quiz (short test) on Unit 2 + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Quiz (short test) on Unit 3 + Part I of Unit 4: Taking vital signs + Prepare for 1st Presentation	David Andrews
	第6回 1st Presentation + Part II of Unit 4: Taking vital signs Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-4.	David Andrews
	第7回 Quiz (short test) on Unit 4 + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Quiz (short test) on Unit 5 + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Quiz (short test) on Unit 6 + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Quiz (short test) on Unit 7 + Part I of Unit 8: Advising about medication + Prepare for 2nd Presentation	David Andrews
	第11回 2nd Presentation + Part II of Unit 8: Advising about medication Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 5-8.	David Andrews
	第12回 Quiz (short test) on Unit 8 + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Quiz (short test) on Unit 9 + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Quiz (short test) on Unit 10 + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies + Prepare for Final Presentation	David Andrews
科目の目的	Medicine is undeniably a global field in which ideas are shared in the international language of English. This course will introduce students to helpful communication strategies and explore communicative skills in English that are of particular relevance to the field of medicine. 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	Students will be able to: 1) handle a wide variety of medical situations using English, 2) understand and actively use accepted terminology and phraseology to explain and discuss major medical topics, and 3) build a foundation in medical English upon which to further their studies toward becoming professionals in their chosen field of medicine.	
関連科目	Related to all English courses	
成績評価方法・基準	1. In-class quizzes (short tests) (30%: 3% x 10 quizzes) These will cover material from the text and will be graded in class. 2. Two midterm presentations (done in pairs but graded individually) (35%: 1st=15%; 2nd=20%) Students will prepare and give presentations in pairs on relevant topics. 3. Final presentation (done in pairs but graded individually) (35%) Final presentation will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-12.	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	Each week we will practice and review a chapter from the text. Please read the dialogs, understand key vocabulary, and be prepared to speak in class. Listening practice is also important. Please use the online resources to practice listening. Each chapter will require about 30-60 minutes on your own to review and study. In addition, you will need about 6 hours during the semester to prepare for presentations.
教科書・参考書	教科書 : Caring For People
オフィス・アワー	During lunch of class day in my office
国家試験出題基準	無し
履修条件・履修上 の注意	Be prepared to speak in class individually, in pairs, and in small groups. Review the vocabulary and grammar from the text in order to use it in class. This syllabus is subject to change.

講義科目名称：医療英語リーディング

授業コード：

英文科目名称：Medical English Reading

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
柴田 恵美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：英語会話

授業コード：

英文科目名称：General English Conversation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：中国語

授業コード：1S031

英文科目名称：Chinese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称：ドイツ語

授業コード：1S033

英文科目名称：German

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	菅谷 優
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	菅谷 優
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷 優
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	菅谷 優
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷 優
	Lektion6 前置詞	菅谷 優
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷 優
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷 優
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷 優
	Lektion10 現在完了・再帰表現	菅谷 優
	Lektion11 形容詞の格変化	菅谷 優
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷 優
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	菅谷 優
	Lektion14 受動態	菅谷 優
	Lektion15 接続法	菅谷 優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01251-4を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：1S034

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
宮入 亮			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション ポルトガル語について、簡単な挨拶、ポルトガル語の読み方 ポルトガル語の読み方	宮入 亮
	第2回 自己紹介ができる 自己紹介の表現 国籍の表現 動詞ser (be動詞) 疑問文と否定文	宮入 亮
	第3回 好きなものを伝えることができる 趣味の表現 色の表現 動詞gostar	宮入 亮
	第4回 家族を紹介することができる 家族の表現 動詞の現在形(規則・不規則)	宮入 亮
	第5回 予定の表現や約束の表現ができる 誘いかけの表現 曜日の表現 動詞ir	宮入 亮
	第6回 今おこなっていることの表現、天気の状態の表現ができる 進行の表現 天候の表現 動詞estar	宮入 亮
	第7回 週末にしたことを表現できる 過去の表現 動詞の完了過去形(規則・不規則)	宮入 亮
	第8回 過去の習慣の表現ができる 子どもの頃の習慣の表現 動詞の未完了過去形	宮入 亮
	第9回 「もし～だったら」と誘う表現ができる 「もし～だったら」、「～する時は」の表現 誘う表現 動詞の接続法未来形	宮入 亮
	第10回 指示や命令の表現ができる 道案内の表現 指示やお願いの表現 動詞の命令法	宮入 亮
	第11回 願望や要求の表現ができる したいことを伝える表現 してほしいことを伝える表現 動詞querer 目的語の代名詞	宮入 亮
	第12回 許可の表現、お願いの表現、時刻の表現ができる 許可の表現 動詞poder 時刻の表現・時点の表現	宮入 亮
	第13回 丁寧なお願いや許可の表現 丁寧の表現 動詞の過去未来形	宮入 亮

	第14回 比較の表現ができる 比較の表現	宮入 亮
	第15回 別れや感謝の表現ができる 別れや感謝の表現	宮入 亮
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることが出来ます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。</p> <p>【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	<p>期末試験(70%)、授業5回毎に行う小テスト(3回実施で各10%、計30%) 小テストは第5回、第9回、第13回の授業内で実施します。各小テストは、翌週に返却し解説します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>毎回先入観なく新しい内容を学習していただきたいため、予習は不要とします。 ただし、復習は授業直後と授業直前に毎回30分ほど行ってください。</p>	
教科書・参考書	<p>(教科書) 市之瀬敦他. 『Boa Sorte!-会話で学ぶポルトガル語-』. 朝日出版社.</p> <p>(参考書) 黒澤直俊他(編). 『デイリー日葡英・葡日英辞典』. 三省堂. 市之瀬敦他(編). 『プログレッシブポルトガル語辞典』. 小学館.</p> <p>その他、資料配布や、自習用アプリの紹介などいたします。</p>	
オフィス・アワー	<p>授業前、授業後の時間 (水曜日1限・2限の授業前後)</p>	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	

講義科目名称：情報処理

授業コード：1S035

英文科目名称：Information Processing

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンEdu.の利用方法、具体的な活用について学ぶ テキスト（目次） 本書と連携サイトの活用法	西谷 泉
	第2回 コンピューターの仕組み コンピューターの構成要素、ファイルの仕組みについて学ぶ テキスト（第1章） コンピューターの仕組み	西谷 泉
	第3回 インターネット ネットワーク、インターネットの仕組み、ネットコミュニケーション、クラウドコンピューティングについて学ぶ テキスト（第2章） インターネット	西谷 泉
	第4回 情報セキュリティ コンピュータ・ウィルス、ネット詐欺の手口、パスワード管理、個人情報保護と情報漏洩について学ぶ テキスト（第3章） 情報セキュリティ	西谷 泉
	第5回 情報倫理 フェイク情報、SNS利用のリスク、メールのマナーについて学ぶ テキスト（第4章） 情報倫理	西谷 泉
	第6回 著作権 著作権の基礎知識、正しい利用について学ぶ テキスト（第5章） 著作権	西谷 泉
	第7回 プログラミング・AI プログラミングとアルゴリズム、プログラミング、AI（人工知能）について学ぶ テキスト（第6章） プログラミング・AI	西谷 泉
	第8回 レポート作成（Word） 1 レポート作成における見出しや文字、段落、オブジェクトの挿入、レポートの体裁について学ぶ テキスト（第7章） レポート作成（Word）	西谷 泉
	第9回 レポート作成（Word） 2 演習 レポート作成における見出しや文字、段落、オブジェクトの挿入、レポートの体裁について学ぶ テキスト（第7章） レポート作成（Word） ▼レポート作成サンプルファイル	西谷 泉
	第10回 集計表（Excel） スプレッドシートによる集計表作成について学ぶ テキスト（第8章） 集計表（Excel）	西谷 泉
	第11回 グラフ作成（Excel） 1 スプレッドシートによるグラフ作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel）	西谷 泉
	第12回 グラフ作成（Excel） 2 演習 スプレッドシートによるグラフ作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel） ▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷 泉
	第13回 プレゼンテーション作成（PowerPoint） 1 プレゼンテーション作成について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷 泉
	第14回 プレゼンテーション作成（PowerPoint） 2 演習 プレゼンテーション作成について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint） ▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷 泉

	第15回 デジタルノート術 (OneNote) デジタルノート (OneNote) の利用と学習活用について学ぶ テキスト (第11章) デジタルノート術 (OneNote)	西谷 泉
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちはそのかなりの量を情報通信機器を使って得る。大学での学習も情報通信機器を扱うスキルによって影響を受けることは確実である。本科目では大学での学びを充実させるために、情報通信機器の基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	パーソナルコンピュータや、インターネットを通して情報を活用する能力を身につける。また、情報の意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の概念について説明できる。 2. パーソナル・コンピュータの基本操作が行える。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習課題60%、Eラーニング・ミニテスト40%）100% ミニテストの結果は、リアルタイムに表示されます。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネット上のクラウド型学習コンテンツサービスを利用して、授業（30分）、自己学習（30分）、関連項目の学習（20分）、ミニテスト（10分）を演習を通して実施します。関連する項目を事前学習（45分）で理解し、併せて関連サイトを自己学習（45分）することが望まれます。	
教科書・参考書	教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：「基礎から学ぶICTリテラシー」 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版）	
オフィス・アワー	未定	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC, Mac等) を持参してください。	

講義科目名称：情報リテラシー

授業コード：1S036

英文科目名称：Information Literacy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義と実習	担当者
授業計画	第1回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指す	

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3. 情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習と課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	前期に使用した以下の教科書を参考にする。 教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：日経BP出版 (A)基本から分かる情報リテラシー 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版） （* 前期「情報処理」で使用した教科書ですので、再度購入する必要はありません。）
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。

講義科目名称：データサイエンス入門

授業コード：1S037

英文科目名称：Introduction to Data Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	<p>第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ</p> <p>第2回 データサイエンスのすすめ さまざまなデータ/統計的方法と変数/コンピュータと計算ソフトウェア</p> <p>第3回 データを集める データの作り方/データの集め方/データの変換のしかた</p> <p>第4回 データを整理する 標本とパラメータ/データと尺度/データの分布</p> <p>第5回 集計を行うためには データを入力する/単純集計</p> <p>第6回 クロス集計表のつくり方 クロス集計表の作成方法/ピボットテーブルの使い方</p> <p>第7回 統計グラフのつくり方 統計グラフの種類と特徴/統計グラフの作成</p> <p>第8回 データをまとめる 大きさの代表値/散布図の代表値</p> <p>第9回 推計と判断 測定値と誤差/代表値の推定/検定の手順</p> <p>第10回 平均値を調べる 2群の平均値の検定/対応のある平均値の検定/3群以上の平均値の検定</p> <p>第11回 質的データの分析 関連の強さを測る/関連があるか内科を判断する</p> <p>第12回 量的データの分析 創刊の強さを測る/データから予測する</p> <p>第13回 公的統計の見方・使い方 出生に関する公的統計/死亡に関する公的統計</p> <p>第14回 実際のデータサイエンスで起こる問題 標本の大きさを決める/外れ値を見つける/欠損したデータを補正する</p> <p>第15回 データサイエンスのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認する。</p>	<p>星野修平</p>
科目の目的	<p>現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】</p>	
到達目標	<p>データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。</p> <p>個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。</p>	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（45分）	
教科書・参考書	<p>教科書：データサイエンス入門 上藤一郎・西川浩昭・他 共著、オーム社</p> <p>参考書：データサイエンス入門 竹村彰通、岩波新書</p> <p>参考書：データサイエンス入門 竹村彰通・姫野哲人・他 共著、学術図書出版社</p>	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mailにて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。	

講義科目名称：大学の学び入門

授業コード：1S038

英文科目名称：Introduction to College Learning

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
杉田 雅子	星野修平	榎本光邦	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	杉田
	第2回 調べる 情報を探す、情報の宝庫図書館の使い方	杉田
	第3回 インターネットリテラシー1 インターネット利用のルールとマナー (1)	星野
	第4回 インターネットリテラシー2 インターネット利用のルールとマナー (2)	星野
	第5回 聞く・ノートを取る・読む1 講義の聞き方、ノートの取り方、本や資料の読み方(1)	杉田
	第6回 読む2・考える 本や資料の読み方(2)、考える力をつけるには	杉田
	第7回 書く：レポートの書き方1 レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村
	第8回 書く：レポートの書き方2 論文作法	峯村
	第9回 書く：レポートの書き方3 講義レポートの形式	峯村
	第10回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す	杉田
	第11回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	榎本
	第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	榎本
	第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	榎本
	第14回 アカデミック・スキルの実践 (1) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長	杉田
	第15回 アカデミック・スキルの実践 (2) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パース病院長	杉田
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解。 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	杉田担当課題（10%、課題に対するフィードバックは次回の授業で行う）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、榎本担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）峯村担当小テスト（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	
オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室	

	榎本：月、水、木、金の昼休み、1号館3階305、1号館学生相談室、4号館学生相談室 峯村優一：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

講義科目名称：大学の学び－専門への誘い－

授業コード：1S039

英文科目名称：Introduction to Healthcare Profession

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊	齊藤 吉人	神山 政恵	三浦 康子
	丹下 弥生	岡野 由実	及川 翔

授業形態	演習 (15回)			担当者
授業計画	第1回	日本語表現演習 (AS) 保健学を知る－保健学の広がりと言語聴覚療法の専門性の関係の理解－ (白坂) AS、座学		白坂 康俊
	第2回	日本語表現演習 (AS) 言語聴覚士の現場 - 小児 - (斎藤) 小児の現場におけるコミュニケーションの方法、内容、特徴		斎藤 吉人
	第3回	日本語表現演習 (AS) 言語聴覚士の現場 - 成人 - (白坂) 講義 成人の現場におけるコミュニケーションの方法、内容、特徴		白坂 康俊
	第4回	日本語表現演習 (AS) 臨床現場におけるコミュニケーションの重要性と方法 (神山) ディスカッション (AS) AS 講義		神山 政恵
	第5回	日本語表現演習 (AS) コミュニケーション技術の向上 (三浦) (AS) AS 講義		三浦 康子
	第6回	日本語表現演習 (AS) ワークショップの活用方法 (丹下) (AS) AS 講義		丹下 弥生
	第7回	日本語表現演習 (AS) ゼミごとにテーマを決定 (AS) 障がいのある方の支援に必要な情報とはなにか?		白坂 康俊
	第8回	日本語表現演習 (AS) ディスカッション (AS) 情報を共有するためにどのような方法がよいか?		白坂 康俊
	第9回	日本語表現演習 (AS) ディスカッション (AS) 臨床で言語聴覚士が果たすべき責任と、それを障がいのある方にどう伝えるか?		白坂 康俊
	第10回	日本語表現演習 (AS) ディスカッション (AS) これまでのディスカッションを整理する。		白坂 康俊
	第11回	日本語表現演習 (AS) ディスカッション (AS) これまでのディスカッションを、発表するための形式でまとめる。		白坂 康俊
	第12回	日本語表現演習 (AS) グループ毎の発表とディスカッション 半分のグループ (AS) AS		白坂 康俊
	第13回	日本語表現演習 (AS) グループ毎の発表とディスカッション 残り半分のグループ (AS) AS		白坂 康俊
	第14回	日本語表現演習 (AS) 地域貢献活動 (AS) AS		白坂 康俊
	第15回	日本語表現演習 (AS) 地域貢献活動 (AS) AS		白坂 康俊
科目の目的	課題学習、グループディスカッション、発表を通して専門関連の課題を理解し、チームアプローチのためのコミュニケーション能力ならびにプレゼンテーション能力を育成する。 言語聴覚学科独自のアクティブラーニング・ゼミ方式を理解し、慣れる。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】			
到達目標	他の学生と協調してグループ学習ができる。テーマに合わせて課題を選択し、その解決方法を見つけることができる。自主的に学習するとともに、グループの他のメンバーを尊重し、協働することができる。			
関連科目	言語聴覚障害学概論、言語聴覚障害学演習、ICFとリハビリテーション、地域リハビリテーション学			
成績評価方法・基準	聴講票20%、ALの参加状況20%、ALの内容、発表60%とする。それぞれ、60/100点以上をとることが必要である。			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	グループ内でのコミュニケーションをしっかりとる。グループ学習において他者の意見を聞くのはもちろんだが、それを尊重しながら発信する。また、他者の学修に対する姿勢なども参考にする。今後4年間の基礎的学習となる。AL=アクティブラーニング、AS=アクティブラーニング・ゼミ			
教科書・参考書	教科書は使用しない。必要な資料を授業時、または前の回の授業時に配布する。			
オフィス・アワー	研究室620 月曜午後～木曜昼までの間の昼休み。			
国家試験出題基準				

履修条件・履修上の注意	
-------------	--

講義科目名称：多職種理解と連携

授業コード：

英文科目名称：Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：医学概論

授業コード：1S041

英文科目名称：Survey of Medical Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
湯本 真人			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医の概要 我が国の医療の諸問題と国際疾患分類、障害の概念を学ぶ	湯本真人
	第2回 医の倫理 守秘義務、個人情報保護、生命倫理、臨床医学研究と倫理、インフォームド・コンセント、evidence-based medicineについて学ぶ	湯本真人
	第3回 医療安全と感染制御 医療安全と薬剤、代表的な感染症と感染制御について学ぶ	湯本真人
	第4回 内科学の概要 代表的な疾患を例に内科学の概要を学ぶ	湯本真人
	第5回 小児科学の概要 代表的な疾患を例に小児科学の概要を学ぶ	湯本真人
	第6回 精神医学とリハビリテーション医学の概要 代表的な疾患を例に精神医学とリハビリテーション医学の概要を学ぶ	湯本真人
	第7回 耳鼻咽喉科学の概要 代表的な疾患を例に耳鼻咽喉科学の概要を学ぶ	湯本真人
	第8回 臨床神経学の概要 代表的な疾患を例に臨床神経学の概要を学ぶ	湯本真人
科目の目的	医学の概要及び歴史を学び、医の倫理や医療従事者としての職業的倫理観を身につける。また、代表的な臓器における疾患について、その病気の成り立ちのメカニズム、症状、検査、診断、治療（外科を含む）といった臨床的問題解決過程について学ぶ。さらに言語聴覚療法に関連する代表的な病気を取り上げ、その症状や病態、治療等の概要から疾病と言語療法との関わり、及びわが国の保健・医療・福祉制度を総論的に学んで言語聴覚士の役割を概念化する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医の倫理や医療安全に関して、医療人としてとるべき対応を答えることができる。 ・代表的な感染症に関して、その感染経路や感染対策を簡潔に答えることができる。 ・代表的な疾患に関して、その発症メカニズム、症状、検査、診断、治療を簡潔に答えることができる。 ・難聴や摂食嚥下障害に対する言語聴覚士としての介入に関し、簡潔に答えることができる。 	
関連科目	解剖学総論、基礎生理学、基礎病理学、内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、神経内科学、臨床心理学、音声学、言語学、音響音声学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義内容を教科書を用いて1時間程度予習・復習することが望ましい	
教科書・参考書	教科書：「言語聴覚士テキスト 第3版」大森孝一（医歯薬出版株式会社）	
オフィス・アワー	講義の前夜	
国家試験出題基準	I-1-A-a~f I-1-B-a~c I-1-C-a~e I-1-D-a~b I-1-E-a~b I-1-F-a~c I-1-G-a I-1-H-a I-1-I-a I-1-J-a~b I-1-K-a~c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：解剖学総論

授業コード：1S042

英文科目名称：Introduction to Human Anatomy

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 解剖学総論 解剖学の位置付け；人体の階層性；基準面；方向と位置を示す用語 第2回 運動器系 運動器の顕微構造；全身の骨格と筋 第3回 神経系 神経細胞の顕微構造；中枢神経の外観；主要な末梢神経系の走行 第4回 循環器系 体循環と肺循環；冠状血管系；主要な抹消血管の走行 第5回 消化器 消化管の構造；肝臓、胆嚢、膵臓の構造；消化酵素の働き 第6回 呼吸器系 喉頭、気管、気管支、肺の構造；呼吸にかかわる反射と神経核 第7回 泌尿生殖器 腎臓と膀胱の構造；生殖器の構造；性ホルモンの働き 第8回 総括 解剖学総論で学んだないようを総括する。	後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑
科目の目的	人体を構成する各器官系の位置と構造を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	(1) 解剖学用語を正しく使うことができる。 (2) 各器官系が人体に占める位置を説明できる。 (3) 各器官系の構造と機能を説明できる。	
関連科目	局所解剖学、基礎生理学	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習として一時間程度をかけ教科書の該当範囲を精読すること。	
教科書・参考書	教科書：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 前田健康監訳 医歯薬出版 参考書：入門人体解剖学 改訂第5版 藤田恒夫 南江堂	
オフィス・アワー	授業後に質問等に対応する。	
国家試験出題基準	I-2-A-a I-2-B-a~b I-2-C-a~h I-2-D-a~b	
履修条件・履修上の注意	授業後にノートやレジユメを参照し復習すること。	

講義科目名称：局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）

授業コード：1S043

英文科目名称：Topographic anatomy (Speech and hearing)

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 感覚器 聴覚器（外耳・中耳・内耳）について 第2回 神経系1 言語・聴覚を中心とする中枢神経系について 第3回 神経系2 言語・聴覚に関する脳神経を中心とする末梢神経について 第4回 骨格系 頭蓋を構成する骨について 第5回 筋系 発語、咀嚼、嚥下に関係する筋について 第6回 消化器系 口腔を中心とする諸器官について 第7回 呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭を中心とする諸器官について 第8回 発生学 頭頸部の形成を中心とする発生学について	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	言語聴覚士をはじめとするリハビリテーション専門職に重要と考えられる言語・聴覚・発声・嚥下に関わる解剖学を習得する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	言語・聴覚・発声・嚥下に関わる器官を解剖学的に説明できる。	
関連科目	解剖学総論	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで事前配布するレジュメを理解に努めながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：「ネッター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」前田健康監訳 医歯薬出版 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	I-2-C-d~f I-3-B-a~f I-3-C-b I-3-E-a~b I-3-I-a~d	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	

講義科目名称：基礎生理学

授業コード：1S044

英文科目名称：Fundamentals of Physiology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官</p> <p>第2回 神経の基本的機能、末梢神経系(体性神経系、自律神経系)の基本的機能、筋肉の基本的機能 神経細胞の形態・興奮伝導・興奮伝達、末梢神経系の成り立ち、筋細胞の形態・興奮・骨格筋の収縮</p> <p>第3回 中枢神経系の基本的構造と高次機能 睡眠・記憶・情動</p> <p>第4回 特殊感覚と体性感覚、体性神経系の運動機能 感覚系、運動系に関わる中枢神経系の構造と機能</p> <p>第5回 血液循環の基礎生理学 血液および心臓・血管系の基礎</p> <p>第6回 呼吸の基礎生理学 吸息・呼息のメカニズムと血液ガス分圧維持の基礎</p> <p>第7回 消化と吸収の基礎生理学 三大栄養素の消化・吸収および排便の基礎</p> <p>第8回 泌尿器の基礎生理学 腎機能・排尿の基礎</p>	<p>洞口 貴弘</p>
科目の目的	<p>人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】)</p>	
到達目標	<p>正常な人体の機能やそれを生み出すしくみの基礎について、選択肢の中から正しく選択できる</p>	
関連科目	<p>基礎解剖学</p>	
成績評価方法・基準	<p>期末テストのみで最終的な成績を決定する</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業内容および期末テストの内容は、配布資料に準ずる。また、配布資料は下記参考書から作成している そのため、配布資料を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約1時間)</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：特になし 参考書：「シンプル生理学 第7版」(南江堂) 「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他</p>	
オフィス・アワー	<p>講義実施日の18:00~19:00</p>	
国家試験出題基準	<p>I-3-A-a~g I-3-B-a~f I-3-C-a~e I-3-D-a~b I-3-E-a~b I-3-F-a I-3-G-a~d I-3-H-a~d I-3-I-a~d I-3-J-a~c I-3-K-a~b I-3-L-a~b</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>7.5コマ講義なので、3回の欠席で履修放棄となるので注意</p>	

講義科目名称：基礎病理学

授業コード：1S045

英文科目名称：Fundamentals of Pathology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回 循環障害1 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学総論	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	I-4-A-a~b I-4-B-a~f I-4-C-a I-4-D-a~b	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：医療危機管理（窒息・誤嚥・吸引含む）

授業コード：1S046

英文科目名称：Medical Risk Management

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
佐田 充			

授業形態	講義のみ	担当者
授業計画	第1回 医療安全総論 医療安全の考え方、歴史 第2回 チーム医療 医療安全におけるチーム医療の根幹となる各職種の役割と連携 第3回 安全管理の仕組み 医療安全を管理する仕組み、体制づくり 第4回 医療事故が起きた場合 発生した医療事故に対する取り組み方 第5回 情報の取り扱い 臨床現場における情報の取り扱いについて 第6回 医療機器や医療ガスの取り扱い 臨床の現場で遭遇する医療機器や医療ガスの注意点 第7回 リハビリテーション中止の目安 リハビリテーションの中止を考える場合 第8回 院内感染対策(基礎) 院内感染症と院内感染の原因となる微生物 第9回 院内感染対策(発生時) 院内感染が起きた場合の対策 第10回 院内感染対策(予防) 院内感染を起さないための対策 第11回 誤嚥と窒息 誤嚥と窒息の違い、原因となる疾患 第12回 院内肺炎・介護医療肺炎・誤嚥性肺炎 肺炎の病態と検査、治療について 第13回 急変時の対応(準備) 緊急時に必要になる物品、緊急時の基本 第14回 急変時の対応(誤嚥・窒息) 目前で誤嚥、窒息を起こした際の対処法 第15回 急変時の対応(心肺停止) 心肺停止時の蘇生処置の基本と応用について	佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充 佐田充
科目の目的	診療の場で求められる安全対策、感染対策、緊急時の対応の基礎知識の習得【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	現代の医療現場で求められる医療安全の概念と実践するための基礎知識の習得 1. 医療安全の歴史的背景と関連法規の概説が出来る。 2. 医療安全におけるチーム医療について具体的に説明できる。 3. 院内感染の原因と対策について説明できる。 4. 緊急時の対処について順を追って具体的に説明できる。	
関連科目	耳鼻咽喉科学、内科学、多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	60分程度	
教科書・参考書	教科書：使用しない 参考書1：「医療安全管理テキスト第4版：医療安全管理者必携」飯田修平編 日本規格協会 参考書2：「改訂第4版日本救急医学会ICLSコースガイドブック」山畑 佳篤 羊土社 参考書3：「病気がみえる vol.4 呼吸器」医療情報科学研究所編 メディックメディア	
オフィス・アワー	授業の前後(非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：内科学

授業コード：

英文科目名称：Internal Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：小児科学

授業コード：

英文科目名称：Pediatrics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井埜 利博			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：精神医学

授業コード：1S049

英文科目名称：Psychiatry

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
平尾 良雄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 精神医学とは 精神医学の定義・概念・歴史	平尾 良雄
	第2回 精神障害の成因と分類 精神と精神症状の理解	平尾 良雄
	第3回 精神疾患の診断と評価	平尾 良雄
	第4回 脳器質性精神障害（てんかんを含む） 症状性精神障害	平尾 良雄
	第5回 統合失調症	平尾 良雄
	第6回 気分障害・神経症・摂食障害・心身症等	平尾 良雄
	第7回 精神作用物質 アルコール、睡眠薬等の薬物関連障害	平尾 良雄
	第8回 精神科医療 治療・薬の副作用・入院の種類	平尾 良雄
科目の目的	広汎な精神障害の概要を学び、将来言語聴覚士としての役割を学習する。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	言語聴覚士として将来遭遇する症例の実像を理解できる。	
関連科目	内科学 小児科学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	次回講義の該当ページを読んでおくこと。学習時間の目安は1コマあたり60分。	
教科書・参考書	教科書：「標準理学療法学作業療法学 精神医学」編：上野武治（医学書院） 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準	II-3-A-a~b II-3-B-a~b II-3-C-a~b II-3-D-a~j II-3-E-a II-3-F-a~c	
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称：リハビリテーション医学

授業コード：

英文科目名称：Rehabilitation Medicine

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：リハビリテーション関連領域実技実習

授業コード：1S051

英文科目名称：Practical Training in Activities of Daily Living

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
浅田 春美	鈴木学	黒川望	吉岡和哉
	近藤健	石代敏拓	

授業形態	講義 2回, 演習 6回		担当者
授業計画	第1回	講義：リハビリテーションにおける姿勢と動作 人の姿勢と基本動作（寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行）の意義	浅田
	第2回	演習：基本動作と介助法 1 寝返り、起き上がり、立ち上がり動作の基本と介助法<正常動作、片麻痺、骨関節疾患の場合>	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
	第3回	演習：基本動作と介助法 2 寝返り、起き上がり、立ち上がり動作の基本と介助法<正常動作、片麻痺、骨関節疾患の場合>	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
	第4回	講義：移動補助具（杖・歩行器・車いす） 1 移動補助具の種類、適応、使用方法（杖の合わせ方、歩行パターン、車いすの基本構造と操作法）	浅田
	第5回	演習：移動補助具（杖・歩行器・車いす） 2 移動補助具の実践（杖の合わせ方、歩行練習、車いすの基本構造と操作法）介助のしかた	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
	第6回	演習：移動補助具（杖・歩行器・車いす） 3 移動補助具の実践（杖の合わせ方、歩行練習、車いすの基本構造と操作法）介助のしかた	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
	第7回	演習：移乗動作 1 ベッド上での移動動作、ベッドから車いすへの移乗動作	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
	第8回	演習：移乗動作 2 ベッド上での移動動作、ベッドから車いすへの移乗動作	浅田, 鈴木, 黒川, 吉岡, 近藤, 石代
科目の目的	臨床で対象となる高齢者や身体障がい者の姿勢や動作の特徴を理解し、その介助方法など学習する。 具体的には、高齢者、中枢神経疾患、骨・関節疾患（変形性関節症）などの移動・移乗動作の介助方法や歩行補助具（杖の合わせ方、杖の付き方）の使用法、車いすの操作方法や介助方法などを習得する。その際、対象者が安楽で安心でき安全な方法で行えるようになることを目的とする。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】		
到達目標	1. 高齢者、片麻痺者、骨・関節疾患（変形性膝・股関節症）の障害像をイメージできる 2. 1本杖の合わせ方、つき方（代表的な歩行パターン）を説明し、杖歩行練習を実践できる 3. 車いすのパーツの名称を言うことができ、安全に車いすを操作できる（車いすの介助） 4. 寝返り、起き上がり、立ち上がりなどの基本動作の際の介助法を実践できる		
関連科目	チーム医療とリハビリテーション、リハビリテーション医学、運動系障害演習		
成績評価方法・基準	小テスト（20%）、定期試験（80%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	技術習得を目標とするため、講義後の実技練習1時間程度。扱う杖や車いすなどの基本的な構造や操作方法などの学習として30分程度の復習を要する。		
教科書・参考書	教科書：特になし（資料配布） 参考書：講義時に紹介する		
オフィス・アワー	講義日の12：10～13：00		
国家試験出題基準	II-4-b-a~d II-4-C-d~g		
履修条件・履修上	実技を行いますので、動きやすい服装を準備して下さい		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
田内 光			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション、関連領域の人体発生学 今後の授業の進め方、レポート提出、期末試験についての概略の説明を受け理解する。耳鼻咽喉科の関係する疾患は耳・鼻・咽喉頭・気管・食道が相互に関係する場合が多く、相互の関連性を学習することが非常に重要であることを理解する。授業はパワーポイント使用による講義が主体であるが、適宜動画の供覧も行って、視覚的な教育も並行して行うことにより、学習の強化を行う。 人体発生学のうち、耳鼻咽喉科に関連の深い耳・鼻・咽喉頭・気管・食道の人体組織の成り立ちと相互の組織学および機能的な共通点を学ぶ。</p>	田内 光
	<p>第2回</p> <p>耳科学Ⅰ：耳の構造と機能 外耳、中耳、内耳、聴覚・平衡神経路、大脳の聴覚野などの構造と機能を学び、聴覚の神経信号がどのように大脳に至り理解されるかを学ぶ。蝸牛および半規管、卵形嚢、球形嚢などの解剖学的関係を学ぶ。</p>	田内 光
	<p>第3回</p> <p>耳科学Ⅱ：耳の病態と治療・リハビリテーション ※レポート課題あり 外耳、中耳、内耳および聴覚・平衡神経路の疾患を学ぶ。その疾患が聴覚そして音声言語にどのような影響を及ぼすかを考え、またその発症時期によって日常生活での不便さが異なることを理解する。またその治療を学び、言語聴覚士の関りとその重要性を理解する。</p>	田内 光
	<p>第4回</p> <p>耳科学Ⅲ：補聴器・人工内耳 聴覚の補助装置として、補聴器および人工内耳がある。STが知っておくべき補聴器の種類・構造・適応および人工内耳の構造・適応について学ぶ。</p>	田内 光
	<p>第5回</p> <p>鼻科学Ⅰ：鼻・副鼻腔の構造およびその機能 ※レポート課題あり 鼻および副鼻腔の構造と機能を学び、それらが呼吸および発声・発語にどのような影響を及ぼしているかを理解する。またそれが阻害された場合にどのような状態が生ずるかを学ぶ。またその障害の内容は発生時期によっても異なることを理解する。</p>	田内 光
	<p>第6回</p> <p>鼻科学Ⅱ：鼻・副鼻腔疾患の病態および治療 鼻・副鼻腔の疾患の病態を学び、どのような影響を日常生活に生じるかを理解する。鼻疾患は生命に影響するような疾患は多くはないが、QOLに大きな影響を及ぼすため生活をするのに不快感や集中力の低下、しいては行動にも影響を生ずる。その影響の重大さを理解し、改善する方法を考えることが重要である。治療に関しては対症的な治療と根本的な治療があるが、その選択に関しても適切なアドバイスができるように学習する。</p>	田内 光
	<p>第7回</p> <p>口腔咽頭科学Ⅰ：口腔・咽頭の構造と機能 ※レポート課題あり 口腔と咽頭の構造とその機能を学び、歯および口蓋・舌が発声やそしゃく嚥下に関してどのように働いているかを理解し、その機能が失われた場合にどのような不自由が生じるかを学ぶ。</p>	田内 光
	<p>第8回</p> <p>口腔咽頭科学Ⅱ：口腔および咽頭の疾患の病態および治療 口腔・咽頭の疾患の病態を学び、その治療およびリハビリテーションを理解する。また手術的手段によりその機能が失われた場合の代用機器および摂食・嚥下のリハビリテーションを学び理解する。</p>	田内 光
	<p>第9回</p> <p>喉頭科学Ⅰ：喉頭の構造と機能 ※レポート課題あり 喉頭の構造と機能を学び、それらが呼吸、摂食・嚥下および発声・発語にどのような影響を及ぼしているかを理解する。</p>	田内 光
	<p>第10回</p> <p>喉頭科学Ⅱ：喉頭の疾患の病態および治療とリハビリテーション 喉頭の疾患の病態を学び、その治療およびリハビリテーションを理解する。また手術的治療によりその機能が失われた場合の代用機器および摂食・嚥下のリハビリテーションを学び理解する。</p>	田内 光
	<p>第11回</p> <p>音声言語医学Ⅰ：音声言語医学の基礎 ※レポート課題あり 言語聴覚士が直接関わることの多い音声言語医学の基礎を学び、将来の患者さまへの言語聴覚療法や相談対応に応えられるよう知識を獲得する。</p>	田内 光

	第12回	音声言語医学Ⅱ：音声言語医学の臨床 聴覚障害とともに音声言語障害も、その患者さまと話してみなければ分からない面がある。そのためご本人は人とのコミュニケーションを避け、孤立する傾向がある。その様な患者さまへ適切な言語聴覚療法を行い、またアドバイスできるように知識を取得する。	. 田内 光
	第13回	気管食道科学Ⅰ：気管食道科学の基礎 ※レポート課題あり 気管食道疾患は耳鼻咽喉科のみならず、呼吸器内科・外科そして消化器内科・外科とも関連のある分野である。それらの知識を得ることはすべての医療職にとって大切なことである。ここでは気管食道の構造と機能の概略を学び、臨床に生かせる知識を理解する。	. 田内 光
	第14回	気管食道科学Ⅱ：気管食道科学の臨床 気管食道疾患の病態と治療方法そしてリハビリテーションを学び、患者さまに適切な指導とアドバイスができるようその病態と治療を学ぶ。	. 田内 光
	第15回	耳鼻咽喉科関連の全身疾患、過去の国家試験問題の検討 ※レポート課題あり 耳鼻咽喉科疾患に関連の深い全身疾患や症候群を理解し、その医学的な知識を学び、将来の言語聴覚士の臨床等に生かせるよう理解する。また人の名前の付いた症候群も多く、国家試験には出題しやすい症候群が多いことも知っておく必要がある。	田内 光
科目の目的	言語聴覚士と耳鼻咽喉科のつながりはかなり長い歴史がある。言語聴覚士法が制定されるかなり前より、耳鼻咽喉科医は言語聴覚療法に関わってきた。ここでは言語聴覚士として知っておかなくてはならない耳鼻咽喉科領域器官の構造・機能・疾患・治療およびリハビリテーションを学ぶ。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】		
到達目標	以下の点を到達目標とする。 1. 耳鼻咽喉科各疾患の概略を説明し、その治療および言語聴覚療法の概略と進め方を説明できる。 2. 実際の言語聴覚療法を施行するにあたり、その人の持つ他の障害の特性も考慮し、実施できる。 3. 耳鼻咽喉科科学的な訓練の実施内容、その成果に関し、正確にカルテに記録を記載できる。		
関連科目	リハビリテーション医学、歯科・口腔外科学、言語医学、聴覚医学		
成績評価方法・基準	レポート課題、および期末試験にて評価する。レポート課題は30点満点とし、講義期間内に数題を提示する。また期末試験は70点満点とし、各々の合計点にて総合評価を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	今回の講義内容を参考書、インターネットなどを参考として準備学習をする。学習時間の目安は約1時間とする。		
教科書・参考書	教科書：特に指定しない。 参考書：「耳鼻咽喉科疾患 ビジュアルブック第2版」落合慈介、中尾一成他編著、学研プラス 「言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学第2版」鳥山稔、田内光編 医学書院（古書）		
オフィス・アワー	授業開始前 30分、授業終了後30分		
国家試験出題基準	Ⅱ-5-B-a`e Ⅱ-5-C-a`h Ⅱ-5-D-a`c Ⅱ-5-E-a`h Ⅱ-5-F-a`b		
履修条件・履修上の注意	1. 講義は全講義を受講すること。遅刻・早退も原則として認めない。 2. やむを得ない事由（病気・弔事・天災など）により欠席する場合は、所定の手続きを取るとともに、次の講義日時の初頭に口頭にて講師に申し出ること。 3. 上記2. の場合は、追加のレポート提出を命ずる場合がある。 4. 正当な理由がなく欠席・遅刻・早退した場合は単位取得が不能となる場合がある。 5. 授業中のスマホ・携帯電話の使用は禁止する。		

講義科目名称：神経内科学

授業コード：

英文科目名称：Neurology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：形成外科学

授業コード：

英文科目名称：Plastic and Reconstructive Surgery

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
浜島 昭人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：脳神経外科学

授業コード：

英文科目名称：Neurosurgery

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
小松 俊一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：歯科・口腔外科学

授業コード：

英文科目名称：Dental and Oral Surgery

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
戸谷麻衣子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：口腔運動医学

授業コード：

英文科目名称：Phoniatrics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
田内 光			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語医学

授業コード：

英文科目名称：Logopedics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
田内 光			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：聴覚医学

授業コード：

英文科目名称：Audiology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
田内 光			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：臨床心理学

授業コード：

英文科目名称：Clinical Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：生涯発達心理学

授業コード：1S061

英文科目名称：Life-Span Development Psychology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人	齊藤 吉人		

授業形態	講義15回 毎回の授業の最後に授業の「まとめ」を提出する。	担当者
授業計画	第1回 ヒトとは 第2回 生涯発達 第3回 胎芽・胎児期 第4回 乳児期 第5回 幼児期前期 第6回 幼児期後期 第7回 学童期 第8回 青年期前期 第9回 青年期後期 第10回 成人期前期 第11回 成人期中期 第12回 成人期後期 第13回 高齢期 第14回 発達理論 第15回 発達理論	齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人 齊藤吉人
科目の目的	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	人間の発達には、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、そうしたライフステージの特徴を踏まえつつ、支援を行うことが求められている。ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題を説明できることを目標とする。	
関連科目	臨床心理学, 学習・認知心理学, 心理測定法	
成績評価方法・基準	1回の「まとめ」の提出に対し2点が与えられる。ただし、正答が6割を超えない場合、「まとめ」とは認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は「標準的まとめ」から出題される。評価点=毎回提出する「まとめ」(2点×15回=30点)+定期試験成績(70点)。60点以上を合格とし単位を与える。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料の該当部分およびテキストの該当部分を予習する(各回45分程度) 各回の内容と演習を復習する(各回45分程度)	
教科書・参考書	教科書：山田弘幸(編著)：言語聴覚士のための心理学(改定版), 医歯薬出版, 2020. 参考書：鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013	
オフィス・アワー	月～金の昼休み	
国家試験出題基準	V-4-A-a~c V-4-B-a~c V-4-C-a~c V-4-D-a~c V-4-E-a~e	
履修条件・履修上	講義資料を事前にActive Academyにて配信する。	

講義科目名称：学習・認知心理学

授業コード：

英文科目名称：Psychology of Learning and Cognition

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：心理測定法

授業コード：

英文科目名称：Psychological measurement method

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語学

授業コード：1S064

英文科目名称：Linguistics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 言語学概論。STにとっての言語学の必要性を理解する演習（言語処理過程） AL：アクティブラーニング	白坂 康俊
	第2回 言語学と言語障がいとの具体的な関連 AL	白坂 康俊
	第3回 言語の一般的特徴（音声・文字言語、恣意性、二重分節性など）、言語の類型 座学	白坂 康俊
	第4回 言語の一般的特徴（生成文法、共時論、通時論、生産性、線状性） 座学	白坂 康俊
	第5回 言語学の研究分野（音韻論、形態論、意味論、統語論、文字論、社会言語学） 座学	白坂 康俊
	第6回 言語理論と言語聴覚療法（言語処理過程、失語症）、言語の階層構造と神経科学） 座学	白坂 康俊
	第7回 日本語の特徴、構造を理解する。STが臨床を行うのに改めて日本語を学ぶ必要性 一部AL	白坂 康俊
	第8回 日本語の品詞、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第9回 日本語の格助詞、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第10回 日本語のテンス、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第11回 日本語のボイス、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第12回 日本語の人称、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第13回 日本語の統語構造と「は」および従属節での格の標識の消失 一部AL	白坂 康俊
	第14回 障がい者にとっての日本語の習得 一部AL	白坂 康俊
	第15回 日本語の助詞と助詞の消失の習得のための訓練プログラム立案 AL	白坂 康俊
科目の目的	患者様が習得、再学習する対象としての日本語について、言語聴覚士として評価課題や訓練課題において言語学的知識をどのように活用し、言語学的な分析をどのように行いうるかについて理解する。それにより、障がいを持つ方の発話や書いたものを分析し、必要な習得プログラム構築できるようにする。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	言語学の基本的な概念を説明できる。日本語の特色、日本語のシンタックス、語彙、表記法（かな、カタカナ、漢字）などの規則と特徴を理解し、言語レベルの障がいの検査・評価・訓練にどのように応用できるかを理解する。	
関連科目	聴覚障害学、失語症学、高次脳機能障害学、言語聴覚障害学概論	
成績評価方法・基準	聴講票20%、ALの参加状況20%、筆記試験、60%とする。筆記試験は、100点満点換算で60点以上を合格とする。聴講票は、内容の評価で、100点満点換算の60点以上を合格とし、また、出席した授業について未提出の場合は、不合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回事前演習課題を提示するので、回答を準備すること。約1時間の準備を要する。基礎的な学問である言語学と言語障害がどう結びつくかをしっかり考えること。	
教科書・参考書	教科書：野田尚史「はじめての人の日本語文法」くろしお出版 1991年 配布資料	
オフィス・アワー	研究室620 月曜午後～木曜昼までの間の昼休み。	
国家試験出題基準	VI-4-A-a~c VI-4-B-a~b VI-4-C-a~b VI-4-D-a~e VI-4-E-a~d	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：音声学

授業コード：

英文科目名称：Phonetics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：音響音声学

授業コード：1S066

英文科目名称：Acoustic Phonetics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
米本 清			

授業形態	講義形式	担当者
授業計画	第1回 音の種類と伝搬	米本清
	第2回 音の性質を表現するための単位	米本清
	第3回 音の性質を表現する取り決め①（音の強さ）	米本清
	第4回 音の性質を表現する取り決め②（音の周波数）	米本清
	第5回 波形と周波数スペクトル	米本清
	第6回 共鳴と反射	米本清
	第7回 音声の音響的特性	米本清
	第8回 臨床への応用	米本清
科目の目的	音に関する基礎知識を得た上で、自らの聴覚で音を判断できる能力を養うこと。臨床での検査や評価において、決められた手順や基準の根拠となる物理現象を知ること、様々な臨床場面での応用力をつける。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	言語聴覚に関わる科目や臨床現場で応用できる最低限必要な基礎知識を得ること。聴覚に関わる検査や評価の手順や基準の根拠を知り、それらの説明ができること。	
関連科目	聴覚心理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（期末50%、各講義後のミニテスト50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度	
教科書・参考書	必要に応じて資料を配布	
オフィス・アワー	なし	
国家試験出題基準	VI-2-A-a~f VI-2-B-a~c VI-2-C-a~e VI-2-D-a~c VI-2-E-a~c VI-2-F-a~d	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：聴覚心理学

授業コード：1S067

英文科目名称：Psychology of Hearing

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
米本 清			

授業形態	講義形式	担当者
授業計画	第1回 音の3要素（物理量と感覚量）	米本清
	第2回 音の閾値と弁別（可聴範囲）	米本清
	第3回 音の強さと大きさ、周波数と高さ	米本清
	第4回 音の持続時間と大きさ、高さ	米本清
	第5回 臨界帯域	米本清
	第6回 マスキング	米本清
	第7回 両耳聴と音源定位	米本清
	第8回 臨床への応用	米本清
科目の目的	音の物理的特性と人間の感覚との関係を理解すること。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	自ら聞いた音の特徴を物理的な特性として説明できる。 さまざまな聴覚特性（現象）を臨床場面で応用できる。	
関連科目	音声学	
成績評価方法・基準	筆記試験（期末50%、各授業後のミニテスト50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度	
教科書・参考書	必要に応じて資料を配布する。	
オフィス・アワー	なし	
国家試験出題基準	VI-3-A-a [~] f VI-3-B-a [~] b VI-3-C-a [~] b VI-3-D-a [~] c	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語発達学

授業コード：

英文科目名称：Development of Speech and Language

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：ICFとリハビリテーション

授業コード：1S069

英文科目名称：ICF and Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人	齊藤 吉人		

授業形態	講義8回, AS		担当者
授業計画	第1回	リハビリテーションとは rehabilitationの歴史と思想、定義	齊藤 吉人
	第2回	疾病と障がい 障がいとは何か, ICD, ICIDH, ICF	齊藤 吉人
	第3回	リハビリテーションの領域 医学的リハビリテーションとリハビリテーション関連職種, AS	齊藤 吉人
	第4回	リハビリテーションの領域 職業的リハビリテーション, 教育的リハビリテーション, AS	齊藤 吉人
	第5回	リハビリテーションの過程 疾病と障がい, 急性期～維持期, 医療としてのリハ, AS	齊藤 吉人
	第6回	障がいと社会制度 国際障害者権利条約, 障害者基本法, 身体障害者福祉法, 障害者手帳, 介護保険, AS	齊藤 吉人
	第7回	地域リハビリテーション 地域資源、行政サービス、在宅ケア, AS	齊藤 吉人
	第8回	障がい者と社会参加, まとめとレポート課題解説 バリアフリーとユニバーサルデザイン, 障がい者と地域, AS	齊藤 吉人
科目の目的	ICFでは障害を機能障害、生活制限、参加制約としており、機能障害だけを障害とはしていない。したがって、リハビリテーションの対象は機能障害へのアプローチみならず、生活制限や参加制約へのアプローチも含むものであることを理解する。【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】		
到達目標	ICFの概念を具体例を挙げて説明できる。リハビリテーションの全体的な体系を説明できる。		
関連科目	チーム医療とリハビリテーション		
成績評価方法・基準	レポート課題(100%)。60点以上得た者に単位を与える。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料の該当部分およびテキストの該当部分を予習する（各回45分程度）。各回の内容と演習を復習する（各回45分程度）		
教科書・参考書	教科書：上田敏著：ICFの理解と活用, きょうされん, 2005		
オフィス・アワー	月～金の昼休み		
国家試験出題基準	I-1-A-b~f II-4-A-a~b VII-1-A-a~b VII-1-B-a VII-1-F-a~k VII-1-G-a~d VII-2-A-a~b VII-2-B~F VIII-1-A-a~c VIII-1-B-a~b VIII-1-C-a~e		
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称：AACと教材学

授業コード：

英文科目名称：Teaching and Learning Materials and AAC (Augme…)

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：臨床スキル論

授業コード：

英文科目名称：Clinical Skills

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡田 哲也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：リハビリテーション経済学

授業コード：

英文科目名称：Economics of Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
高橋 克佳			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：チーム医療とリハビリテーション

授業コード：1S073

英文科目名称：Rehabilitation and Team Care

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
神山 政恵	馬場 順子 村田 和香	岡崎 大資 浅田 春美	三浦 康子
	丹下 弥生	岡田 直純	北村 達夫

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ</p> <p>第2回 リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割</p> <p>第3回 グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け</p> <p>第4~7回 グループワーク（演習4回） 下記の課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。 課題① 高崎市問屋町を生活圏とするために 課題② 大学生生活を快適にする方法 課題③ リハビリテーションを地域住民に知ってもらうために 課題④ 高齢者のための生活の工夫を考える 課題⑤ リハビリテーションの将来を考える</p> <p>第8回 グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。</p>	<p>村田・岡崎・神山</p> <p>岡崎・馬場・神山</p> <p>神山・岡崎・馬場</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p> <p>岡崎・浅田・北村・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p>	
科目の目的	リハビリテーション学部のディプロマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】		
到達目標	<p>①チーム医療の意味を説明できる。</p> <p>②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。</p> <p>③グループ・ワークに積極的に参加することができる。</p> <p>④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。</p>		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、作業療法概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。 レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。 準備学習に必要な時間の目安は30分程度である。		
教科書・参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	グループ担当教員が昼休み（12：10～13：00）に対応。		
国家試験出題基準	<p>I-1-C-b</p> <p>II-4-C-a~c</p> <p>VII-1-F-a~k</p> <p>VII-1-G-a~d</p> <p>VII-2-A-a~b</p> <p>VII-2-B~F</p> <p>VIII-1-C-d</p>		
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称：地域社会学

授業コード：

英文科目名称：Community Sociology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
丹下 弥生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：社会福祉制度・関連法規

授業コード：1S075

英文科目名称：Social Welfare System and Related Regulations

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
金谷 春代	未定	魚屋 真佐江	坂井 勉

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 初回授業のため、自己紹介、授業目的、今後の授業の進め方、テキスト説明などのオリエンテーション</p> <p>第2回 社会福祉とは テキストP2からP11まで</p> <p>第3回 日本の社会福祉の歴史 テキストP12からP25まで</p> <p>第4回 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 テキストP26からP39まで</p> <p>第5回 子ども福祉 テキストP41からP55まで</p> <p>第6回 障害者福祉 テキストP57からP71まで</p> <p>第7回 高齢者福祉 テキストP73からP84まで</p> <p>第8回 介護保険制度と専門職の役割：チームアプローチの必要性 テキストP86からP102まで</p> <p>第9回 低所得者福祉 テキストP103からP116まで</p> <p>第10回 地域福祉とその推進方法 テキストP117からP129まで</p> <p>第11回 医療福祉・精神保健福祉 テキストP133からP146まで</p> <p>第12回 社会福祉の役割・社会福祉を担う人々 テキストP160からP180まで</p> <p>第13回 相談援助の目的と方法 テキストP181からP188まで</p> <p>第14回 医療ソーシャルワーカーと多職種連携 テキストP194からP201まで</p> <p>第15回 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割・まとめ テキストP202からP207まで</p>	<p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>金谷 春代</p> <p>坂井 勉</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>未定</p> <p>未定</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>未定</p> <p>坂井 勉</p> <p>魚屋 真佐江</p> <p>金谷 春代</p>
科目の目的	社会福祉の考え方の重要性、人を相手とする職業で必要な人権や権利擁護意識、在宅生活を支える地域包括ケアシステム制度や社会保障制度の理解、地域連携・多職種連携など「連携」の意義について学ぶ。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	1. 社会福祉全般について理解すること。 2. 人を支援するプロフェッショナルになる自覚を促す。	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	全講義終了後の筆記試験のみ（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に次回講義部分を熟読しておくこと。 1コマ約1時間	
教科書・参考書	教科書：「コメディカルのための社会福祉概論第4版（講談社出版）」ISBN978-4-06-514046-8 参考書：随時配付	
オフィス・アワー	講義終了後	
国家試験出題基準	VII-1-C-a~i VII-1-D-a~e VII-1-E-a~d VII-3-A-a~e	
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 コミュニケーションにおける言語という記号の役割と機能（スピーチチェーン）講義 グループ分け	白坂 康俊
	第2回 聴覚言語障がいとは 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分 AS:アクティブラーニング・ゼミ	白坂 康俊
	第3回 評価とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分	白坂 康俊
	第4回 治療・機能訓練とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分	白坂 康俊
	第5回 活動制限と支援 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分	白坂 康俊
	第6回 参加制約と支援 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分	白坂 康俊
	第7回 共生の社会とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション（AS）60分	白坂 康俊
	第8回 聴覚障害 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第9回 発達障害 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第10回 失語症 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第11回 高次脳機能障害 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第12回 運動障害性構音障害 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第13回 口蓋裂言語 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第14回 吃音 グループ発表（AS）	白坂 康俊
	第15回 音声障害 グループ発表（AS）	白坂 康俊
科目の目的	言語聴覚障害は機能障がいとしてのコミュニケーションの問題だけでなく、日常行動の制限や社会参加の制約をもたらす。体験も通して、これらの困難、不自由さ、苦痛などを、知識ではなく感覚的なレベルで理解し、他者に発信する。 障がいのある方の評価と支援は、世界基準であるICF(国際生活機能分類)に基づいてなされることを理解し、それに基づいた言語聴覚障害の種類、特徴、治療・訓練法を学び、それぞれの障害の特徴に沿った生活ならびに地域や社会への参加の制約の実情を把握し、生活支援、社会参加支援を含めた言語聴覚士の役割を理解する。 アクティブラーニングでの学習、グループ学習の方法を習得することでチーム医療の基礎能力を身につける。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	言語聴覚障がいのある方の困難、不自由さ、苦痛を感覚的に理解し、かつ他者に説明できる。 コミュニケーションにおける言語という記号の役割と機能（スピーチチェーン）を説明できる。 言語聴覚障がいに対する支援（機能回復、生活支援、社会参加支援等）について説明できる。 言語聴覚障がいの種類と種類毎の評価（ICF評価を含む）、支援について説明できる。 言語聴覚障がい学（資格制度を含む）の歴史と概要を説明できる。	
関連科目	言語聴覚障害学演習、ICFとリハビリテーション、地域リハビリテーション学	
成績評価方法・基準	聴講票20%、ALの内容、発表60%、レポート20%とする。いずれも60点/100点満点以上をとって合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	担当するテーマについての自己学習、グループ学習、発表のために毎回1時間程度の準備を要する。	
教科書・参考書	教科書：言語聴覚士テキスト 第3版、医歯薬出版	
オフィス・アワー	研究室620 月曜午後～木曜昼までの間の昼休み	
国家試験出題基準	VIII-1-A-a~c	

	VIII-1-B-a [~] b VIII-1-C-a [~] e
履修条件・履修上の注意	AL=アクティブラーニング、AS=アクティブラーニング・ゼミ

講義科目名称：言語聴覚障害学演習

授業コード：1S077

英文科目名称：Seminar in Speech-Language-Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
神山 政恵	神山政恵	三浦康子	丹下弥生

授業形態	講義（ 1 ） 、演習（ 7 ）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 概論（講義） 各障害の基礎知識について教員が講義し、障害に対する疑似体験の必要性を確認する。	神山・三浦・丹下
	第2回	演習 グループワーク（グループ分け・テーマを決める、グループ内の役割、情報収集）AL+AS グループ分けを実施し、疑似体験への準備をする。	神山・三浦・丹下
	第3回	演習 グループワーク（主に情報収集・教員への質疑応答）AL+AS 疑似体験の準備として、様々な情報収集を実施する。	神山・三浦・丹下
	第4回	演習 グループワーク（疑似体験）AL+AS	神山・三浦・丹下
	第5回	演習 グループワーク（疑似体験）AL+AS	神山・三浦・丹下
	第6回	演習 グループワーク（疑似体験のまとめ）AL+AS 教員に質問があれば、質問する。	神山・三浦・丹下
	第7回	演習 グループワーク（疑似体験のまとめ）AL+AS 教員に質問があれば、質問する。各グループ内のまとめを行う。	神山・三浦・丹下
	第8回	演習 グループワーク発表会 グループワークの内容をまとめ、その学習成果をパワーポイントにより発表し、ディスカッションを行う。	神山・三浦・丹下
科目の目的	授業で学んだことが臨床現場で直ぐに生かせる訳ではない。臨床現場に出た場合に、学生の能力だけでなく、様々な現場による制約が生じるからである。そのためには、社会の中で対象者の苦慮や不自由さを疑似体験し、社会参加の困難さを十分理解すること、さらに対象者のニーズを把握することを学修する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間性と倫理観】		
到達目標	①肢体障害、視覚障害、聴覚障害、言語系の障害、発語障害、摂食・嚥下障害の各障害の概要を理解出来る。②各障害の疑似体験を実施する。③各障害の社会生活上の困難さについて説明することが出来る。④各障害を持つ対象者のニーズについて説明することが出来る。		
関連科目	言語聴覚障害学概論、言語聴覚障害診断学、言語聴覚障害臨床論、地域リハビリテーション学、地域参加支援総論		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの態度と発表（50%）、およびレポート：毎回のまとめ（50%）を基準として100点満点で評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的に疑似体験とグループ・ワークに参加すること。		
教科書・参考書	「言語聴覚士のための運動障害性構音障害」医歯薬出版		
オフィス・アワー	研究室622 月曜午後～木曜日午前まで担当授業のない時		
国家試験出題基準	VIII-1-B-a~b VIII-1-C-a~e		
履修条件・履修上の注意	AL=アクティブ・ラーニング、AS=アクティブ・ラーニング・ゼミ		
実務経験のある教員による授業			
実務経験	神山 政恵（言語聴覚士）		
授業の概要	肢体障害、視覚障害、聴覚障害、言語系障害、発語障害、摂食・嚥下障害の疑似体験を演習する。日常生活から地域・社会参加の困難を体験し、障害を持つ対象者の苦痛や不自由さについて話を聞き、自ら模擬体験することにより、障害を持つ対象者のニーズを深く理解する。		

講義科目名称：言語聴覚障害診断学

授業コード：1S078

英文科目名称：Speech-Language-Hearing-Disorder Diagnosis

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
神山 政恵	神山政恵		

授業形態	講義(15)	担当者
授業計画	第1回 講義 オリエンテーションとモデルプレゼンテーション (失語症)	神山
	第2回 講義 モデルプレゼンテーションの方法と、内容、注意点など	神山
	第3回 講義 診断とICF 診断の流れ	神山
	第4回 グループワーク (失語症と高次脳機能障害の診断の流れ AS+AL sv:神山、三浦)	神山
	第5回 グループワーク (失語症と高次脳機能障害の診断の流れ2) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL SV:神山、三浦)	神山
	第6回 グループワーク (知的発達障害の診断の流れ1) AS+AL sv: 斉藤	神山
	第7回 グループワーク (知的発達障害の診断の流れ2) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL sv: 斉藤	神山
	第8回 グループワーク (聴覚障害の評価の流れ1) AS+AL SV:岡野	神山
	第9回 グループワーク (聴覚障害の評価の流れ2) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL SV:岡野	神山
	第10回 グループワーク (器質性・機能性構音障害の評価の流れ1) AS+AL sv:及川	神山
	第11回 グループワーク (器質性・機能性構音障害の評価の流れ2) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL sv:及川	神山
	第12回 グループワーク (発声発語・嚥下障害の評価の流れ1) AS+AL sv:丹下	神山
	第13回 グループワーク (発声発語・嚥下障害の評価の流れ2) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL SV:丹下	神山
	第14回 グループワーク (非流暢性発話障害の評価の流れ) (学生によるプレゼンテーション) AS+AL SV: sv: 斉藤、及川	神山
	第15回 講義・演習のまとめ、質疑応答	神山
科目の目的	コミュニケーション障害である言語聴覚障害の種類とその原因疾患、各障害の発現メカニズムを理解し、障害の特徴と診断方法を学修し、それらの障害の対象者のQOLの確保や復権に結びつくことを理解する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】	
到達目標	①聴覚障害、失語症、高次脳機能障害、器質性・機能性・運動障害性構音障害、音声障害、吃音、脳性麻痺を含む発達性障害の概要を説明できる。②各障害の検査法や診断法について学修する。③単に各障害の類型を記述できるだけでなく、言語処理過程の中での位置づけを正しく認識できる。④最終的には診断・評価はその対象者のQOL確保や復権に結びつくことを理解することが目標となる。	
関連科目	言語聴覚障害学概論、言語聴覚障害学演習、言語聴覚障害臨床論、地域リハビリテーション学、地域参加支援総論	
成績評価方法・基準	グループ・ワークの態度と発表 (30%)、レポート：各講義のまとめ (30%)、筆記試験 (40%)で、100点満点で評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	グループワークの準備に必要な時間は40分程度である。グループワーク内では他者の意見を尊重し、自分からも発信することも大切である。	

教科書・参考書	「ICF国際生活機能分類改訂版」中央法規出版
オフィス・アワー	研究室622 月曜日午後～木曜日午前 担当授業のない時間
国家試験出題基準	VIII-2-A-a～c VIII-2-B-a～c
履修条件・履修上の注意	AL=アクティブ・ラーニング、AS=アクティブ・ラーニング・ゼミ

講義科目名称：言語聴覚障害臨床論

授業コード：

英文科目名称：Clinical Speech, Language, and Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
丹下 弥生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：地域リハビリテーション学

授業コード：1S080

英文科目名称：Community Based Rehabilitation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人	齊藤 吉人		

授業形態	講義15回, AS6回, AL1回		担当者
授業計画	第1回	地域リハビリテーションとは 地域リハの定義、歴史、理念を理解する。	齊藤 吉人
	第2回	地域リハビリテーションとICF ICFの理念とそれに基づく地域リハビリテーションの在り方を理解する。	齊藤 吉人
	第3回	インクルージョンとは何か 社会統合のための思想インクルージョンはどのように生み出されたか、その歴史を理解する。	齊藤 吉人
	第4回	障害者権利条約と合理的配慮 21世紀では初の人権条約として障害者権利条約が2006年に第61回国連総会において採択された。日本政府は国内法の整備に時間を要し2014年ようやく批准が承認された。批准に至るまでの経緯とこの条約で義務づけられた合理的配慮の内容を理解する。	齊藤 吉人
	第5回	これからの日本社会 日本はこれから急速な人口減少社会へと向かっていく。そこで予測されている様々な課題について理解する。	齊藤 吉人
	第6回	地域包括ケアシステム 地域包括ケアシステムとは、要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のことである。地域包括ケアシステムは、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。群馬県における取組を知り、目指すべきケアシステムの方向性を理解する。	齊藤 吉人
	第7回	地域リハの現状とSTの役割 地域リハビリテーションに完成型はない。一人一人のこれからの問題として捉える必要がある。そこで、地域リハビリテーションの内容と動向を学ぶ。そして、高崎・群馬・北関東の実情を知り、これからの地域リハビリテーションの課題を考える。	齊藤 吉人
	第8回	地域リハ活動への参加 障がい児者を対象とした地域活動に参加する(AL)。	齊藤 吉人
	第9回	社会資源の活用 アクティブラーニングの結果の発表(AS)。地域参加、地域リハビリテーションにおいて活用可能な社会資源(フォーマル・インフォーマル)はなにか。(担当A班 SV:三浦)	齊藤 吉人 +AS
	第10回	群馬、高崎における地域参加の実情 アクティブラーニングの結果の発表(AS)。地域参加の実情を、実際の高崎、群馬の事例で考える。(担当B班 SV:丹下)	齊藤 吉人 +AS
	第11回	バリアフリーとユニバーサルデザイン アクティブラーニングの結果の発表(AS)。バリアフリーとユニバーサルデザインの理念、現状、課題を考える。(担当C班 SV:今村)	齊藤 吉人 +AS
	第12回	小児の地域参加 アクティブラーニングの結果の発表(AS)。小児の障がい、発達障がいにおける社会参加の課題を考える。(担当D班 SV:齊藤)	齊藤 吉人 +AS
	第13回	就学支援 アクティブラーニングの結果の発表(AS)。地域参加の実際と課題を就学という視点から検討する。(担当E班 SV:岡野)	齊藤 吉人 +AS
	第14回	就労支援 アクティブラーニングの結果の発表(AS)。地域参加の実際と課題を就労という視点から検討する。(担当F班 SV:及川)	齊藤 吉人 +AS
	第15回	まとめ まとめとレポート課題解説	齊藤 吉人
科目の目的	言語聴覚障がい児者の地域参加を実現するためには、それぞれの機能障害へのアプローチと同時に、生活上の制限に対するアプローチや、障がい児者を取り巻く物理的・制度的バリアーや情報・こころのバリアーの解消に向けたアプローチも必要となる。実際の支援では地域資源(人・制度・環		

	境)の利用が重要な要素であり、実践を行いながら、地域資源の調査や実践的な連携も行っていく。担当教員全員で実施する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】【人間力と倫理観】
到達目標	言語聴覚障がい児者の地域参加を実現するための生活上の制限に対するアプローチや、障がい児者を取り巻く物理的・制度的バリアーや情報・こころのバリアーの解消に向けた方法論を理解し説明できる。
関連科目	ICFとリハビリテーション, チーム医療とリハビリテーション, 言語聴覚障害学概論, 言語聴覚障害学演習, 言語聴覚障害診断学, 見学実習
成績評価方法・基準	ASとATに関するレポート課題で評価する(100%)。60点以上得た者に単位を与える。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料の該当部分およびテキストの該当部分を予習する(各回45分程度) 各回の内容を復習する(各回45分程度) アクティブラーニングでは与えられた課題を事前に準備する(1時間程度)
教科書・参考書	教科書：言語聴覚士テキスト, 医歯薬出版, 2018.
オフィス・アワー	月～金の昼休み
国家試験出題基準	I-1-A-b~f I-1-C-c I-1-H-a I-1-K-a VII-1-A-a~b VII-1-B-a VII-1-F-a~k VII-1-G-a~d VII-2-A-a~b VII-2-B~F VIII-1-C-e
履修条件・履修上の注意	AS:アクティブラーニング・ゼミ AT:アクティブラーニング

講義科目名称：地域参加支援総論

授業コード：

英文科目名称：General Theory of Community Participation Support

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
三浦 康子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：失語症学

授業コード：

英文科目名称：Aphasia

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
三浦 康子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：高次脳機能障害学

授業コード：

英文科目名称：Higher Brain Dysfunction

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
神山 政恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：失語・高次脳機能障害評価法

授業コード：

英文科目名称：Aphasia and Higher Brain Dysfunction Asse...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
神山 政恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：失語・高次脳機能障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Aphasia and Higher Brain Dysfunction Supp...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
丹下 弥生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語発達障害学

授業コード：

英文科目名称：Language Development Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語発達障害評価法

授業コード：

英文科目名称：Assessment Methods for Language Development Dis...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：言語発達障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Language Development Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：病理音声学

授業コード：

英文科目名称：Pathological Phonetics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：発声発語・嚙下障害評価法

授業コード：

英文科目名称：Assessment Methods for Motor Speech Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
三浦 康子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：器質性・機能性発話障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Organic and Functional Spe...

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：運動性発話障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Motor Speech Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
今村 瑞妃			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：非流暢性発話支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Verbal Fluency Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
都筑 澄夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：摂食・嚥下障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Dysphagia

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
清水 充子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：聴覚障害学

授業コード：

英文科目名称：Study of Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：聴覚検査法

授業コード：

英文科目名称：Auditory Assessment Methods

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：聴覚補償

授業コード：

英文科目名称：Auditory Compensation

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
北 義子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：先天性聴覚障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Congenital Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
北 義子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：後天性聴覚障害支援論

授業コード：

英文科目名称：Support Methods for Acquired Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
北 義子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：地域参加支援演習 I

授業コード：

英文科目名称：Seminar I: Community Participation Support

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	齊藤 吉人（言語聴覚士）	
授業の概要	自立ならびに、健常者と同じ地域社会への参加の実現をめざし、受け入れる社会の在り方を考える。言語聴覚士が、コミュニケーションや摂食嚥下についての専門性を生かして地域づくり、街づくりをすることの重要性と方法論を学習する。グループ単位で、情報収集、企画立案を行い、教員がアドバイザーとして参加する。	

講義科目名称：地域参加支援演習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Seminar II: Community Participation Support

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			
授業形態			
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
実務経験のある教員による授業			
実務経験	齊藤 吉人（言語聴覚士）		
授業の概要	「地域参加支援演習Ⅰ」の結果を踏まえ、実際に学生がグループ単位で、障害を持つことを含む社会的に弱い立場の人たちが、社会や地域に参加するための事業を企画し、実践する。ここでは、当事者と支援者である言語聴覚士だけでなく、地域で実際に生活する一般の人たちと連携しながら相互に相談し、計画を立て、運営することにより、連携の難しさ、それを克服する運営の方法を知り、実現することによる達成感を体験する。		

講義科目名称：聴覚障害演習

授業コード：

英文科目名称：Seminar in Hearing Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
北 義子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	北 義子（言語聴覚士）	
授業の概要	次の聴覚障害に関する項目について演習形式で学ぶ。標準純音、語音聴力検査、COR、ピープショウ検査、BOA検査などの各種聴覚検査、検査手順の習熟と結果の評価、補聴器フィッティング及び人工内耳マッピング、幼児聴能及び言語訓練演習、成人聴能訓練とコミュニケーション確保訓練、聴覚障害の構音訓練。	

講義科目名称：運動系障害演習

授業コード：

英文科目名称：Seminar in Motor Speech Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
丹下 弥生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	丹下 弥生（言語聴覚士）	
授業の概要	言語系障害演習と聴覚障害演習で得られた知識・技能を用い、検査、評価、診断、方針決定、訓練手技の適応、環境調整、社会参加の支援までを一貫して演習形式で学ぶ。それまでの知識や技術の統合を目的とする。	

講義科目名称：言語系障害演習

授業コード：

英文科目名称：Seminar in Adult Language Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
三浦 康子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	三浦 康子（言語聴覚士）	
授業の概要	言語障害に関する次の項目について演習形式で学ぶ。失語症、高次脳機能検査、発達検査、構音検査、吃音検査など各種言語検査。さらに、検査手順の習熟と結果の評価、訓練プログラムの立案、言語訓練、構音訓練、発声訓練、吃音訓練などの各種訓練法を学ぶ。	

講義科目名称：小児系障害演習

授業コード：

英文科目名称：Seminar in Pediatric Communication Disorders

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	齊藤 吉人（言語聴覚士）	
授業の概要	聴覚障害、運動系障害、言語系障害の各論に制約されず、各障害類型に共通する小児に特化する臨床上の特徴や課題、スキルなどを演習形式で学ぶ。おもちゃを含む教材の創造的使用やスキルも演習する。	

講義科目名称：卒業研究

授業コード：

英文科目名称：Graduation Studies

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	選択
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	白坂 康俊（言語聴覚士）	
授業の概要	卒業後、自ら研究する姿勢と能力を養うことを目的に、専門科目担当教員の指導の下、テーマを定めて研究に取り組む。具体的には、研究の必要性の理解、研究課題の設定、文献検索、具体的研究テーマと目的の設定、研究方法の選択（実験研究、臨床研究）、倫理的配慮、研究計画書の作成、データの収集・集計・分析・考察、論文作成を内容とする。	

講義科目名称：見学実習

授業コード：1S107

英文科目名称：Clinical Tours

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人	白坂康俊	神山政恵	三浦康子
	丹下弥生	岡野由実	及川 翔

授業形態	実習学内準備：1 日間(学内) 実習施設における実習：3 日間(学外) 実習後総括：1 日間(学内)		担当者
授業計画	<p>事前学習</p> <p>1) オリエンテーション (臨床見学実習の目的、内容、課題、留意すべき点などについて理解する。)</p> <p>2) 自己のコミュニケーション態度に関する学習</p> <p>3) 客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination : OSCE)</p> <p>学外実習</p> <p>【必須内容】</p> <p>1) 言語聴覚療法業務の見学および一部実施</p> <p>2) 実習記録 (観察場面の記録およびデイリーノート)</p> <p>【選択課題】</p> <p>1) カンファレンス見学</p> <p>2) 教材および道具の作成補助</p> <p>事後学習</p> <p>1) 実習報告会 (レジュメ作成・報告)</p> <p>2) 残された課題の整理</p>		<p>齊藤, 白坂, 神山, 三浦, 丹下, 岡野, 及川</p> <p>齊藤, 白坂, 神山, 三浦, 丹下, 岡野, 及川</p> <p>齊藤, 白坂, 神山, 三浦, 丹下, 岡野, 及川</p>
科目の目的	言語聴覚療法対象者がいる施設にて臨床実習指導者の指導・監督のもとで、臨床実習指導者が行う言語聴覚療法を見学あるいは一部実施する。課題は対象者の情報と心身の状態や行動の観察を行い、疾患による言語聴覚や摂食嚥下への影響(病態)を考え、病歴(障害歴)を適切な表現を用いて記述する。さらに、対象者との会話を通して、対象者の全体像を把握し、情報を収集する。担当教員全員で実施する。【基本的知識と技術】【コミュニケーション能力】【知的探求能力】 【人間力と倫理観】		
到達目標	社会人としての適切な振舞い以外に、医療従事者としての患者・利用者を中心に据える姿勢を身に付ける。また、言語聴覚士として必要な基礎及び専門科目や選択科目が何故臨床場面で必要とされるのかを理解することを目標とする。		
関連科目	言語聴覚障害学概論、言語聴覚障害学演習、言語聴覚障害診断学、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	学外実習(3日間)の評価9割、事前学習(1日間)とまとめ(1日間)の評価1割として、60点以上得た者に単位を与える。詳細についてはオリエンテーション時に提示する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習：1日間 1) オリエンテーション (臨床見学実習の目的、内容、課題、留意すべき点などについて理解する。) 2) 自己のコミュニケーション態度に関する学習 3) 客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination : OSCE)		
教科書・参考書	臨床実習マニュアル、学生手帳、実習手帳		
オフィス・アワー	随時受け付ける。		
国家試験出題基準	VIII-1-C-a~c		
履修条件・履修上の注意			
実務経験のある教員による授業			
実務経験	齊藤 吉人 (言語聴覚士)		
授業の概要	言語聴覚療法対象者がいる施設にて臨床実習指導者の指導・監督の下、臨床実習指導者が行う言語聴覚療法を見学する。言語聴覚療法の実践場面の見学により、言語聴覚士として座学で学んだ知識・技術を臨床場面での実践と結びつけることを目的とする。加えて、社会人としての適切な振舞い以外に、医療従事者としての患者・利用者を中心に据える姿勢・責任感を学ぶ。		

講義科目名称：観察実習

授業コード：

英文科目名称：Clinical Observation Practice

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	3単位	必修
単位認定者	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	齊藤 吉人（言語聴覚士）	
授業の概要	言語聴覚療法対象者がいる施設にて臨床実習指導者の指導・監督の下、臨床実習指導者が行う言語聴覚療法を観察あるいは一部実施する。対象者の情報と心身の状態や行動の観察を行い、疾患による言語聴覚や摂食嚥下への影響（病態）を考え、病歴（障害歴）を適切な表現を用いて記述できるようになることを目的とする。さらに、対象者との会話を通して、対象者の全体像を把握し、情報を収集する。	

講義科目名称：評価実習

授業コード：

英文科目名称：Clinical Assessment Practice

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	6単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	白坂 康俊（言語聴覚士）	
授業の概要	言語聴覚療法対象者がいる施設にて指導者の指導・監督の下、指導者が行う言語聴覚療法を見学あるいは一部実施する。対象者の身体・行動の観察、情報の収集、病歴（障害歴）記述、検査の実施と所見記述、言語聴覚や摂食嚥下の問題点の列挙と明確化ができるようになることを目的とし、さらにそれらに基づいて言語聴覚療法訓練の目標設定を行うことを試みる。	

講義科目名称：統合実習

授業コード：

英文科目名称：Clinical Integrated Practice

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	6単位	必修
単位認定者	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2021年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
実務経験のある教員による授業		
実務経験	白坂 康俊（言語聴覚士）	
授業の概要	3年次までに学習した知識や技術をベースに、外部臨床実習施設にて実際の臨床場面で言語聴覚士の役割、臨床に必要な最小限の知識ならびに技能を学ぶことを目的とし、以下の学習を体験する。1) 適切な記録の取り方や報告の仕方を学ぶ。2) 言語聴覚療法に係る検査の実施を含む評価、情報収集の実際を学ぶ。3) 問題点を抽出し、言語聴覚療法におけるリハビリテーションの計画の立案・実践を学ぶ。4) 言語聴覚士としての臨床を行う意欲を高める。5) 言語聴覚療法の対象者やその家族、多職種との良好なコミュニケーション態度を身に付ける。	